

方式・日程	問題番号	出題分野	出題内容
A I 方式 1月18日 問題▶P.99~	第1問	生命現象と物質	消化酵素、基質特異性、アロステリック酵素、酵素のはたらき
	第2問	遺伝情報の発現	トリプレット、転写、RNA、フェニルケトン尿症、突然変異
	第3問	生物の多様性と生態系	炭素の移動、水田や森林の生態系
	第4問	生命現象と物質	光合成の過程、カルビン・ベンソン回路に関する実験
	第5問	生殖と発生	動物の配偶子形成、受精、哺乳類の性決定
	第6問	生物の環境応答、生物の体内環境の維持	脊髄、反射の経路、酵素解離曲線
A I 方式 1月19日 問題▶P.103~	第1問	生命現象と物質、生物の特徴	同化と異化、呼吸、ATP
	第2問	遺伝子とそのはたらき	DNA、塩基、ゲノム
	第3問	生物の多様性と生態系	エネルギーの移動、水界生態系、バイオームと有機物、遷移、先駆植物
	第4問	生命現象と物質	呼吸の過程、アルコール発酵、ATP
	第5問	生殖と発生	無性生殖、性染色体と常染色体、発生と分化、卵黄の分布、卵割
	第6問	生物の環境応答、生物の体内環境の維持	アブシシン酸とエチレンのはたらき、屈性、光屈性の実験、抗体、凝集反応
A II・Ⅲ方式 2月8日 問題▶P.108~	第1問	生命現象と物質	同化と異化、酵素、運動と呼吸・心臓のはたらき
	第2問	遺伝子とそのはたらき、遺伝情報の発現	DNA と RNA、ゲノム、細胞周期、ラクトースオペロン、突然変異
	第3問	生物の多様性と生態系	一次遷移、二次遷移、垂直分布、ギャップ、炭素循環と窒素循環、富栄養化
	第4問	生命現象と物質	解糖系、クエン酸回路、電子伝達系、アルコール発酵、呼吸商の計算
	第5問	生殖と発生	動物の配偶子形成、卵割に関する観察実験
	第6問	生物の体内環境の維持、生物の環境応答	内分泌腺の除去実験、オーキシンのはたらき
B方式 2月27日 問題▶P.113~	第1問	生命現象と物質、生物の特徴	細胞小器官、細胞の観察
	第2問	遺伝子とそのはたらき、遺伝情報の発現	転写、翻訳、mRNA、タンパク質とアミノ酸、遺伝子組換え実験
	第3問	生物の多様性と生態系	一次遷移、環境形成作用、光補償点、ギャップ、陽樹と陰樹、窒素の循環
	第4問	生命現象と物質	窒素の代謝、窒素同化、窒素固定、窒素含有率
	第5問	生殖と発生	卵黄の分布、卵割、原腸胚、遺伝子と交配実験
	第6問	生物の環境応答、生物の体内環境の維持	光発芽種子、酵素解離曲線
C方式 3月15日 問題▶P.119~	第1問	生命現象と物質	細胞膜、流動モザイクモデル、アクアポリン、ホルモン受容体
	第2問	遺伝情報の発現	遺伝子組換え実験、制限酵素、スプライシング
	第3問	生物の多様性と生態系	バイオーム、階層構造、森林内の相対照度、海岸の生態系
	第4問	生命現象と物質	呼吸の過程、ATP、解糖
	第5問	生殖と発生	分化の決定、卵割、調節卵、灰色三日月環
	第6問	生物の環境応答	筋肉の構造、横紋筋、平滑筋、筋収縮のしくみ

## 傾向 ◀ 基本レベルの問題が多いが、読解力や計算力を要する問題も出題される。

### 1 出題形式

大問6問の構成で、解答方式はA I、A II・Ⅲ、Bはすべてマークシート方式、Cはすべて記述方式である。

出題形式はA I～Ⅲ、Bは語句選択・数値選択・組み合わせ選択・文章選択、正誤判定など、Cは語句記述・文章選択・語句選択・文章記述などである。

### 2 出題内容

生物の特徴、遺伝子とそのはたらき、生物の多様性と生態系、生物の体内環境の維持、生命現象と物質、生殖と発生、

生物の環境応答の各分野から出題されている。

### 3 難易度

各方式とも教科書レベルの基礎的な問題が中心であるが、出題分野に偏りがなく幅広い学習を要する。また、6大問が出題され、正確かつ手早く問題を処理しなければならない。計算問題や実験考察問題も出題されるので、苦手な生徒は十分に練習しておく必要がある。C日程は文章記述問題が出題されており、簡潔に要点をまとめる論述力を必要とするため、やや難易度が高くなっている。

## 対策 ◀ 教科書の内容を確実に押さえ、問題集や過去問で演習を積もう。

教科書の内容を理解したら、問題集や過去問を用いて演習に取り組もう。解けなかった問題は、必ず教科書やノートを

見直して復習しておこう。直前期には試験本番を想定して、時間を計りながら過去問演習を行うことも大切である。